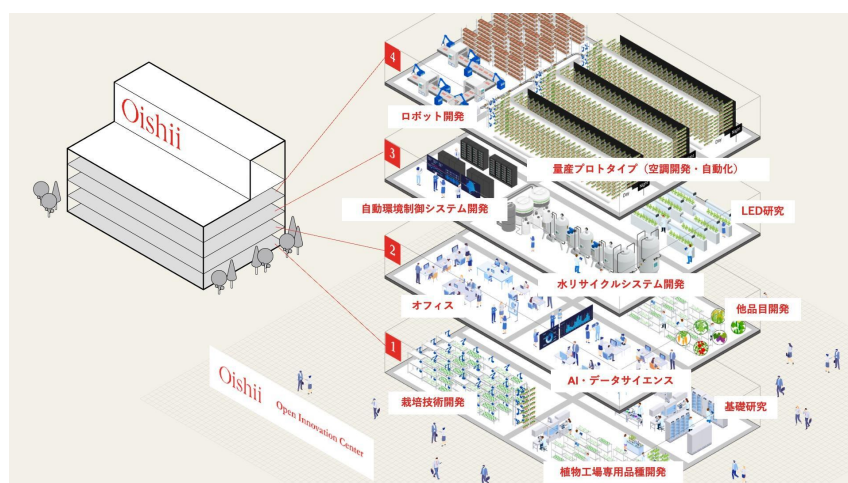


Oishii Farm、植物工場研究施設「オープンイノベーションセンター」を 東京都羽村市に開設決定

～ 50億円以上を投資し、サステナブルな農業実現を目指す～

サステナブルな農業の実現を目指し、植物工場を展開するOishii Farm（オイシイファーム、本社：米国ニュージャージー州、CEO：古賀大貴）の日本法人であるOishii Farm株式会社は、植物工場の研究開発施設「オープンイノベーションセンター」を、東京都多摩地区の羽村市に開設することを決定しました。すでに同拠点には日本オフィスを設置しており、センターの開設に向けた工事を進めています。本年内には、段階的に研究活動を開始する予定です。



オープンイノベーションセンター イメージ

オープンイノベーションセンターについて

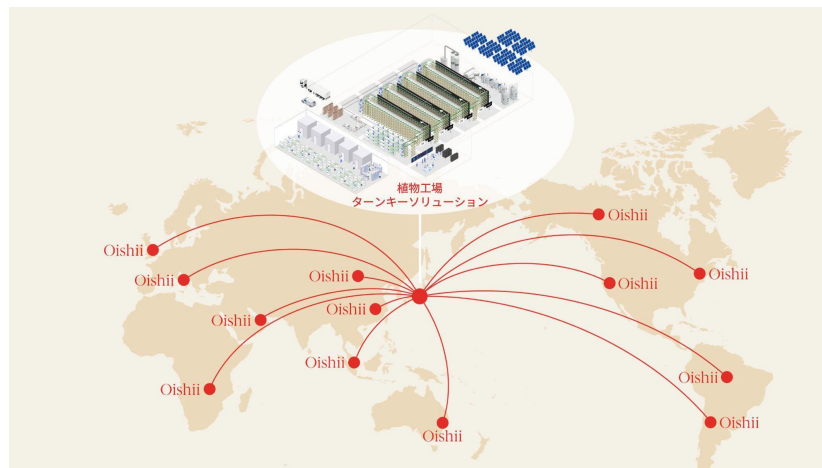
Oishii Farmの「オープンイノベーションセンター」は、植物工場に必要な各領域を牽引している企業と連携しながら、革新的な研究開発を推進する施設です。日本は、植物工場に必要な二大要素である農業と工業の両領域において、世界トップクラスの技術力と研究者を有しており、これらの強みを最大限に活かすべく、同センターを東京に設置する運びとなりました。

本施設では、今後50億円以上を投資し、植物工場における量産化、生産性の向上、サステナビリティの追求、おいしさの探求、新たな果物・野菜の生産などに向けた研究を実施します。

<研究開発予定領域>



Oishii Farmは、植物工場のリーディングカンパニーになること、そして自動車産業に次ぐ、新たな日本発のグローバル産業の創出を目指しています。まずは東京を拠点に、世界展開に向けた基盤構築を進め、植物工場のターンキーソリューション（必要な技術や設備を詰め込んでパッケージ化し、個別開発なしでそのまま各地に展開可能な状態）の実現に取り組みます。



詳細は、ホームページ上のリリースをご覧ください。

<https://oishiifarm.co.jp/blogs/news/20250602-open-innovation-center>

Oishii Farm（オイシイファーム）とは

日本の農業・工業技術を活かした植物工場で、持続可能な農業と、圧倒的な「おいしい」の実現を目指して、日本人CEO（古賀 大貴）とアメリカ人COO（Brendan Somerville）によって、2016年に米国で設立された企業です。

栽培サイクルが長く、安定生産が最も高度な農作物と言われるいちごを、植物工場内でハチによる自然受粉を用い、世界で初めて安定量産することに成功しました。自然とテクノロジーを融合させながら、

温度・湿度・二酸化炭素・光・風速といった要素を農作物にとって最適な条件で再現し、年間を通して、完全無農薬・非遺伝子組み換えの、安全でおいしいいちごやトマトを消費者にお届けしています。



世界最大級のいちごの植物工場

米国ニューヨーク近郊（ニュージャージー州）に、世界最大級のいちごの植物工場を構えています。太陽光エネルギーの活用、90%以上の水をリサイクル、農薬不使用、ロボット活用など、サステナビリティと自動化を追求した農場です。

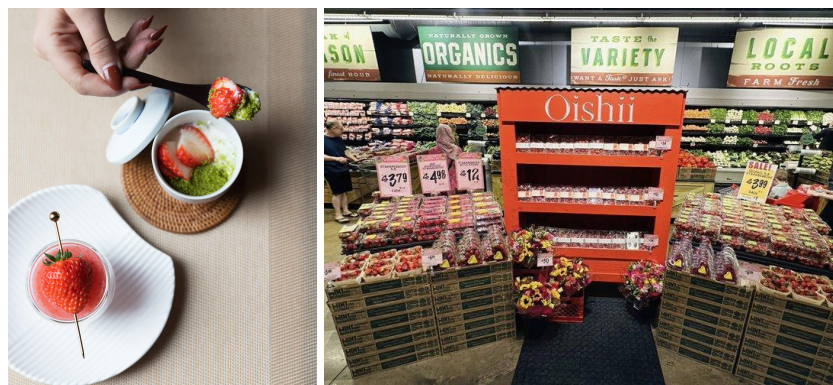


本農場内の様子は、YouTubeでご覧ください。

YouTube: [サステナビリティと自動化を追求した次世代植物工場「メガファーム」](#)

米国での広がり

高品質ないちごが話題となり、様々なミシュラン星付きレストランにて採用いただいています。また、ホールフーズを含む、280以上のスーパーマーケットでの販売、ブランドとのコラボレーションなども、展開しています。



その他

- ウェブサイト: <https://oishiifarm.co.jp/>
- CEO古賀のTED Talk: [The Sweet Future of Vertical Farming | Hiroki Koga | TED](#) (日本語字幕あり)
- Xアカウント: [@oishiifarm_jp](#)
- 問い合わせ先:
Oishii Farm株式会社 広報担当 石原
yuzuki@oishii.com